

DOCAVE EXCHANGE

パブリック フォルダ移行

Microsoft Exchange Server および Exchange Online パブリック フォルダーから Microsoft SharePoint Server および Microsoft SharePoint Online へ、組織のコンテンツをスピーディーに統合します。

ビジネス上の利点:



レガシー資産の保護

Exchange パブリック フォルダからマッピング先 SharePoint リスト・ライブラリへの完全忠実なコンテンツ移行を自動化します。

Exchange パブリック フォルダーの SharePoint への確実な移行で、企業の情報資産を保護します。



ビジネス継続性

カスタマイズ可能なコンテンツ / ファイル サイズ フィルターを使用して、Exchange コンテンツの整理・再構築を行うことができます。

これにより、ビジネス ニーズに沿ったムダのない SharePoint レポジトリを形成することが可能になります。

最適化された Exchange エlementと関連 SharePoint アイテム間のマッピングにより、すべてのコンテンツが同期された環境を実現します。



柔軟な展開とスケジュールリング

ライブモードおよびスケジュールリング機能を使用して、最小単位またはコンテンツ一括で移行できるため、管理者はビジネス ニーズやタイムラインに合わせて移行ジョブを計画できるようになり、本番環境を稼働させる為の影響を最小限に抑えることができます。

SharePoint への移行を簡単に

Microsoft Exchange パブリック フォルダーは長い間ユーザーの情報共有に使用されており、メッセージ・ファイル・予定表・連絡先などを保存する中央リポジトリとして機能してきました。しかし近年、ビジネスに不可欠なコンテンツを Microsoft SharePoint に移行する信頼性の高い方法を模索する企業・組織が増加しています。

DocAve パブリック フォルダー移行 for SharePoint は、Microsoft Exchange Server および Exchange Online から SharePoint Server 2010、SharePoint Server 2013、SharePoint Server 2016 および SharePoint Online への効果的かつ費用効果的な移行手段を提供することにより、パブリック フォルダーのシームレスな移行を可能にします。

Microsoft Partner

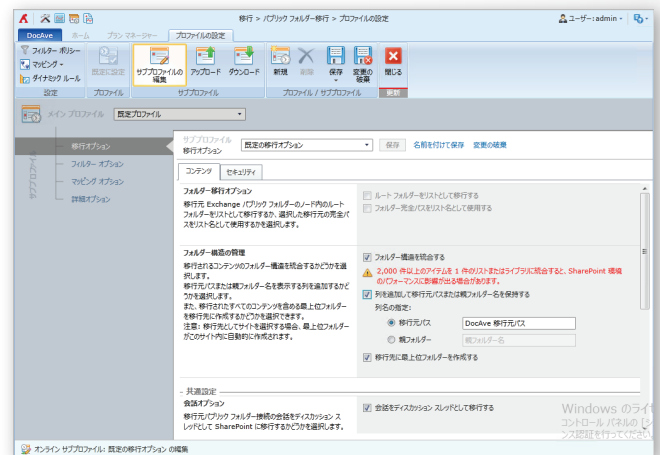
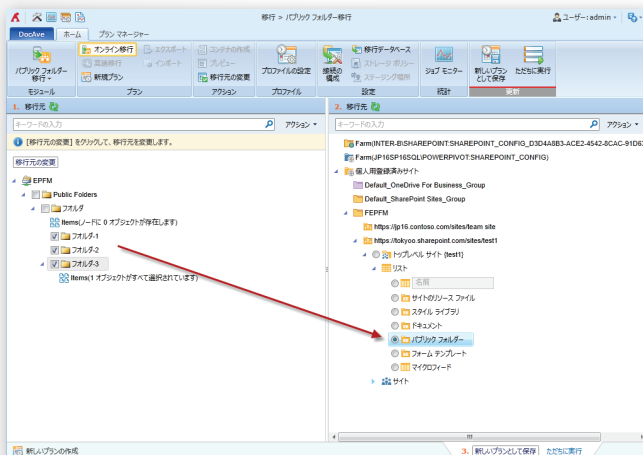
Gold Application Development
Gold Cloud Platform
Gold Cloud Productivity
Gold Collaboration and Content

30日間無料評価版

www.AvePoint.co.jp

技術概要

- 移行フェーズにおける Exchange パブリック フォルダー・SharePoint 両ストレージをコラボレーション オプションとしてサポートします。
- 管理者ロールに合わせて移行プランの管理を割り当てます。
- 作業前に移行元環境内のコンテンツをスキャンして移行範囲を指定し、マッピングの必要な禁則文字・ユーザー権限・ユーザー名・ユーザー ドメインなどの Exchange Public 要素を検出することで、SharePoint Server や SharePoint Online への移行を正しく実行します。
- カレンダーや連絡先・ジャーナル・メール・メモ・タスクなどのデータを、関連するメタデータを含めた形で Exchange パブリック フォルダーから抽出し、マッピング先となる SharePoint オブジェクトへと移行します。
- 粒度の高いコンテンツ選択機能、およびコンテンツ プロパティを元にカスタマイズ可能なフィルター処理オプションを使用して移行プラン構成のテスト検証を実行し、ビジネス ニーズに則った移行コンテンツの選択を実現します。
- 粒度の高いコンテンツ選択機能、およびコンテンツ プロパティを元にカスタマイズ可能なフィルター処理オプションを使用して移行プラン構成のテスト検証を実行し、ビジネス ニーズに則った移行コンテンツの選択を実現します。
- ライブラリへの移行の完了後にフォルダー構造を再編成し、移行元フォルダー パスを列の値として記録します。
- まず完全移行を行い、さらに増分移行を引き続き実行するという形をとることでネットワーク帯域リソースを最適化し、最終移行ジョブから更新のあったコンテンツのみを移行することができます。
- オンラインによる既存サイトへの移行はもちろん、移行作業に合わせて新規サイトを作成することも可能です。
- カスタム マッピング機能を使用してセキュリティ設定、属性、プロパティなどのメタデータをすべて完全忠実に保持、既存エレメントへの適切な参照や Managed Metadata などの SharePoint フィーチャーの活用が可能になります。
- ユーザーが定義したセット パスに準拠して、移行元メタデータを、Managed Metadata Service 配下の入れ子状用語として移行することが可能です。
- 既存の移行プランを優先し、組織内の計画に合わせたプロジェクトの実行を保証します。



クリックするだけの簡単な操作で、SharePoint への移行を実行します。

本リリースで新たに追加される機能の一覧については、[DocAve 6.8 リリース ノート](#) をご参照ください。

DocAve
に関するお問い合わせ

電話: (03) - 6853 - 6300
E-mail: SalesJP@AvePoint.com

AvePoint Japan 株式会社
〒108-0074
東京都港区高輪 4-10-18
京急第一ビル 11F

その他詳細につきましては www.avepoint.co.jp をご覧ください。
アポイントジャパン ブログ www.avepoint.co.jp/community/ をご覧ください。